

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【公表番号】特表2010-501569(P2010-501569A)

【公表日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-003

【出願番号】特願2009-525624(P2009-525624)

【国際特許分類】

A 0 1 N	59/16	(2006.01)
C 1 1 D	3/48	(2006.01)
C 1 1 D	7/26	(2006.01)
C 1 1 D	7/20	(2006.01)
C 1 1 D	7/38	(2006.01)
C 1 1 D	7/18	(2006.01)
C 1 1 D	9/50	(2006.01)
A 0 1 N	59/00	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)
A 0 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/22	(2006.01)
A 6 1 K	8/34	(2006.01)
A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 Q	5/02	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 Q	11/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/38	(2006.01)
A 6 1 P	31/02	(2006.01)
A 6 1 K	31/327	(2006.01)
A 6 1 K	31/045	(2006.01)
A 6 1 K	31/047	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	33/34	(2006.01)
A 6 1 K	33/38	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 K	33/40	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	59/16	A
C 1 1 D	3/48	
C 1 1 D	7/26	
C 1 1 D	7/20	
C 1 1 D	7/38	
C 1 1 D	7/18	
C 1 1 D	9/50	
A 0 1 N	59/00	A
A 0 1 N	25/02	

A 0 1 P 3/00  
A 6 1 K 8/22  
A 6 1 K 8/34  
A 6 1 K 8/19  
A 6 1 Q 5/02  
A 6 1 Q 19/10  
A 6 1 Q 19/00  
A 6 1 Q 11/00  
A 6 1 K 8/38  
A 6 1 P 31/02  
A 6 1 K 31/327  
A 6 1 K 31/045  
A 6 1 K 31/047  
A 6 1 K 33/24  
A 6 1 K 33/34  
A 6 1 K 33/38  
A 6 1 P 17/00 1 0 1  
A 6 1 P 31/12  
A 6 1 P 31/04  
A 6 1 P 31/10  
A 6 1 P 33/00  
A 6 1 K 33/40

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月11日(2010.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) i) 水、

i i) 0.001wt%から10.0wt%のペルオキシゲン、および

i ii) アルコール

を含む水性ビヒクル、

b) 該水性ビヒクルの含量に基づいて0.001重量ppmから50,000重量ppmの遷移金属またはその合金

を含むが、

ただし、アルデヒドを実質的に含まない、水性消毒薬組成物。

【請求項2】

塩素含有成分、臭素含有成分、ヨードフォア含有成分、フェノール含有成分および4級アンモニウム含有成分を実質的に含まない、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記アルコールが0.1wt%から10wt%で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記アルコールが、メタノール、エタノール、プロパノール、ブタノール、ペンタノール、グリセロールおよびそれらの混合物から選択されるC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>₄アルコールである、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>2</sub> ~ 4 アルコールが多価アルコールである、請求項1に記載の組成物。

【請求項 6】

前記遷移金属またはその合金が、ルテニウム、ロジウム、オスミウム、イリジウム、パラジウム、白金、銅、金、銀、それらの合金、およびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記遷移金属またはその合金がコロイド状の遷移金属またはその合金である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記コロイド状の遷移金属がコロイド銀である、請求項7に記載の組成物。

【請求項 9】

前記遷移金属またはその合金がイオン性の遷移金属である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記遷移金属またはその合金が 15 重量 ppm から 1500 重量 ppm で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記ペルオキシゲンが、過ギ酸、ペルオキシ酢酸、ペルオキシシュウ酸、ペルオキシブロパン酸、過乳酸、ペルオキシブタン酸、ペルオキシベントン酸、ペルオキシヘキサン酸、ペルオキシアジピン酸、ペルオキシクエン酸、ペルオキシ安息香酸、およびそれらの混合物からなる群から選択される過酸である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.05 wt % から 5.0 wt % で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.1 wt % から 3.0 wt % で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0.1 wt % から 1.5 wt % で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記ペルオキシゲンが過酸化物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記過酸化物が過酸化水素である、請求項15に記載の組成物。

【請求項 17】

前記過酸化物が、過酸化ナトリウム、過酸化マグネシウム、過酸化カルシウム、過酸化バリウム、および過酸化ストロンチウム、ならびにこれらの混合物からなる群から選択される金属過酸化物である、請求項15に記載の組成物。

【請求項 18】

前記ペルオキシゲンが過酸および過酸化物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 19】

前記ペルオキシゲンが、過マンガン酸塩、過ホウ酸塩、過塩素酸塩、過酢酸塩、過炭酸塩、過硫酸塩、およびそれらの組合せからなる群から選択される過酸塩である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 20】

消毒用ワイプとして織地に含浸されている、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 21】

消毒用ゲルを形成するために前記水性組成物に混合されている増粘剤またはゲル化剤をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 22】

消毒用フォームを形成するための発泡剤をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 2 3】**

シャンプー、石鹼、ゲル、クリームもしくは軟膏、練り歯磨き、または口内リンスからなる群から選択される個人用衛生製品に調合される、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 2 4】**

請求項 1 ~ 2 3 のいずれか一項に記載の消毒薬組成物と表面を接觸させることを含む、表面を消毒する方法。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明のさらなる特徴および利点は、以下の、例示によって本発明の特徴を説明する、発明を実施するための最良の形態から明らかになる。

本発明は、例えば以下の項目を提供する。

(項目 1)

a) i) 水、

i i) 0 . 0 0 1 w t % から 1 0 . 0 w t % のペルオキシゲン、および

i i i) アルコール

を含む水性ビヒクル、

b) 該水性ビヒクルの含量に基づいて 0 . 0 0 1 重量 p p m から 5 0 , 0 0 0 重量 p p m の遷移金属またはその合金

を含むが、

ただし、アルデヒドを実質的に含まない、水性消毒薬組成物。

(項目 2)

塩素含有成分および臭素含有成分を実質的に含まない、項目 1 に記載の組成物。

(項目 3)

ヨードフォア含有成分を実質的に含まない、項目 1 に記載の組成物。

(項目 4)

フェノール含有成分を実質的に含まない、項目 1 に記載の組成物。

(項目 5)

4 級アンモニウム含有成分を実質的に含まない、項目 1 に記載の組成物。

(項目 6)

前記アルコールが 0 . 0 0 1 w t % から 4 0 w t % で存在する、項目 1 に記載の組成物。

。

(項目 7)

前記アルコールが 0 . 0 5 w t % から 2 0 w t % で存在する、項目 1 に記載の組成物。

(項目 8)

前記アルコールが 0 . 1 w t % から 1 0 w t % で存在する、項目 1 に記載の組成物。

(項目 9)

前記アルコールが C<sub>1</sub> ~ C<sub>2</sub> 4 アルコールである、項目 1 に記載の組成物。

(項目 10)

C<sub>1</sub> ~ C<sub>2</sub> 4 アルコールが、メタノール、エタノール、プロパノール、ブタノール、ペンタノール、およびそれらの混合物からなる群から選択される、項目 9 に記載の組成物。

(項目 11)

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>2</sub> 4 アルコールが多価アルコールである、項目 9 に記載の組成物。

(項目 12)

前記多価アルコールがグリセロールである、項目 1 1 に記載の組成物。

(項目13)

前記多価アルコールがアルコール基を2個含む、項目11に記載の組成物。

(項目14)

前記多価アルコールがアルコール基を3個含む、項目11に記載の組成物。

(項目15)

前記遷移金属またはその合金がV族からX族の遷移金属またはその合金である、項目1に記載の組成物。

(項目16)

前記遷移金属またはその合金がX族からX族の遷移金属またはその合金である、項目1に記載の組成物。

(項目17)

前記遷移金属またはその合金が、ルテニウム、ロジウム、オスミウム、イリジウム、パラジウム、白金、銅、金、銀、それらの合金、およびそれらの混合物からなる群から選択される、項目1に記載の組成物。

(項目18)

前記遷移金属またはその合金がコロイド状の遷移金属またはその合金である、項目1に記載の組成物。

(項目19)

前記コロイド状の遷移金属がコロイド銀である、項目18に記載の組成物。

(項目20)

前記コロイド状の遷移金属またはその合金が0.001μmから1.0μmの平均粒径を有する、項目18に記載の組成物。

(項目21)

前記コロイド状の遷移金属またはその合金が0.030μmから0.5μmの平均粒径を有する、項目18に記載の組成物。

(項目22)

前記遷移金属またはその合金がイオン性の遷移金属である、項目1に記載の組成物。

(項目23)

前記遷移金属またはその合金が15重量ppmから1500重量ppmで存在する、項目1に記載の組成物。

(項目24)

前記ペルオキシゲンが過酸である、項目1に記載の組成物。

(項目25)

前記過酸が脂肪族の過酸である、項目24に記載の組成物。

(項目26)

前記過酸が芳香族の過酸である、項目24に記載の組成物。

(項目27)

前記過酸が、過ギ酸、ペルオキシ酢酸、ペルオキシシュウ酸、ペルオキシプロパン酸、過乳酸、ペルオキシブタン酸、ペルオキシペンタン酸、ペルオキシヘキサン酸、ペルオキシアジピン酸、ペルオキシクエン酸、ペルオキシ安息香酸、およびそれらの混合物からなる群から選択される、項目24に記載の組成物。

(項目28)

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として0.05wt%から5.0wt%で存在する、項目1に記載の組成物。

(項目29)

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として0.1wt%から3.0wt%で存在する、項目1に記載の組成物。

(項目30)

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として0.1wt%から1.5wt%で存在する、項目1に記載の組成物。

(項目31)

前記ペルオキシゲンが過酸化物を含む、項目1に記載の組成物。

(項目32)

前記過酸化物が過酸化水素である、項目31に記載の組成物。

(項目33)

前記過酸化物が金属過酸化物である、項目31に記載の組成物。

(項目34)

前記金属過酸化物が、過酸化ナトリウム、過酸化マグネシウム、過酸化カルシウム、過酸化バリウム、および過酸化ストロンチウム、ならびにこれらの混合物からなる群から選択される、項目33に記載の組成物。

(項目35)

前記過酸化物がペルオキシ水和物である、項目31に記載の組成物。

(項目36)

前記過酸化物がin situで生成される、項目31に記載の組成物。

(項目37)

前記過酸化物が過炭酸ナトリウムから生成された過酸化水素である、項目36に記載の組成物。

(項目38)

前記ペルオキシゲンが過酸および過酸化物を含む、項目1に記載の組成物。

(項目39)

前記ペルオキシゲンが過酸塩である、項目1に記載の組成物。

(項目40)

前記過酸塩が、過マンガン酸塩、過ホウ酸塩、過塩素酸塩、過酢酸塩、過炭酸塩、過硫酸塩、およびそれらの組合せからなる群から選択される、項目39に記載の組成物。

(項目41)

消毒用ワイプとして織地に含浸されている、項目1に記載の組成物。

(項目42)

消毒用ゲルを形成するために前記水性組成物に混合されている増粘剤またはゲル化剤をさらに含む、項目1に記載の組成物。

(項目43)

約5μmから約200μmの粒径を有するエアロゾル化した消毒薬の形態の、項目1に記載の組成物。

(項目44)

消毒用フォームを形成するための発泡剤をさらに含む、項目1に記載の組成物。

(項目45)

シャンプー、石鹼、ゲル、クリームもしくは軟膏、練り歯磨き、または口内リンスからなる群から選択される個人用衛生製品に調合される、項目1に記載の組成物。

(項目46)

a) i) 水、

i i) 0.001wt%から10.0wt%のペルオキシゲン、および

i ii) アルコール

を含む水性ビヒクル、

b) 該水性ビヒクルの含量に基づいて0.001重量ppmから50,000重量ppmのコロイド銀またはその合金

を含む水性消毒薬組成物。

(項目47)

アルデヒド、塩素含有成分および臭素含有成分、ヨードフォア含有成分、フェノール含有成分、および4級アンモニウム含有成分を実質的に含まない、項目46に記載の組成物。

(項目48)

前記アルコールが0.001wt%から40wt%で存在する、項目46に記載の組成物。

(項目49)

前記アルコールが0.1wt%から10wt%で存在する、項目46に記載の組成物。

(項目50)

前記アルコールが多価アルコールである、項目46に記載の組成物。

(項目51)

前記コロイド銀またはその合金が、銀と、ルテニウム、ロジウム、オスミウム、イリジウム、パラジウム、白金、銅、または金との合金である、項目46に記載の組成物。

(項目52)

前記コロイド銀またはその合金が0.001μmから1.0μmの平均粒径を有する、項目46に記載の組成物。

(項目53)

前記遷移金属またはその合金が15重量ppmから1500重量ppmで存在する、項目46に記載の組成物。

(項目54)

前記ペルオキシゲンが過酸である、項目46に記載の組成物。

(項目55)

前記過酸が脂肪族の過酸または芳香族の過酸である、項目54に記載の組成物。

(項目56)

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として0.05wt%から5.0wt%で存在する、項目46に記載の組成物。

(項目57)

消毒用ワイプとして織地に含浸されている、項目46に記載の組成物。

(項目58)

消毒用ゲルを形成するために前記水性組成物に混合されている増粘剤またはゲル化剤をさらに含む、項目46に記載の組成物。

(項目59)

約5μmから約200μmの粒径を有するエアロゾル化した消毒薬の形態の、項目46に記載の組成物。

(項目60)

消毒用フォームを形成するための発泡剤をさらに含む、項目46に記載の組成物。

(項目61)

シャンプー、石鹼、ゲル、クリーム、軟膏、練り歯磨き、または口内リンスからなる群から選択される個人用衛生製品に調合される、項目46に記載の組成物。

(項目62)

a) i) 水、

i i) 0.001wt%から10.0wt%のペルオキシゲン、および

i ii) アルコール

を含む水性ビヒクル、

b) 該水性ビヒクル含量に基づいて0.001重量ppmから50,000重量ppmの遷移金属またはその合金

を含む消毒薬組成物と表面を接触させることを含む、表面を消毒する方法。

(項目63)

前記アルコールが0.05wt%から40wt%で存在する、項目62に記載の方法。

(項目64)

前記アルコールが0.1wt%から10wt%で存在する、項目63に記載の方法。

(項目65)

前記アルコールがC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>～C<sub>4</sub>アルコールであり、メタノール、エタノール、プロパンオール、ブタノール、ペンタノール、およびそれらの混合物からなる群から選択される、項

目 6 2 に記載の方法。( 項目 6 6 )

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>2</sub>~<sub>4</sub> アルコールが多価アルコールである、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 6 7 )

前記多価アルコールがグリセロールである、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 6 8 )

前記遷移金属またはその合金が、ルテニウム、ロジウム、オスミウム、イリジウム、パラジウム、白金、銅、金、銀、それらの合金、およびそれらの混合物からなる群から選択される V I 族から X I 族の遷移金属またはその合金である、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 6 9 )

前記遷移金属またはその合金がコロイド状の遷移金属またはその合金である、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 0 )

前記コロイド状の遷移金属がコロイド銀である、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 1 )

前記ペルオキシゲンが、過ギ酸、ペルオキシ酢酸、ペルオキシシュウ酸、ペルオキシプロパン酸、過乳酸、ペルオキシブタン酸、ペルオキシペンタン酸、ペルオキシヘキサン酸、ペルオキシアジピン酸、ペルオキシクエン酸、ペルオキシ安息香酸、およびそれらの混合物からなる群から選択される過酸である、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 2 )

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0 . 0 5 w t % から 5 . 0 w t % で存在する、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 3 )

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0 . 1 w t % から 3 . 0 w t % で存在する、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 4 )

前記ペルオキシゲンが前記水性ビヒクルの一部として 0 . 1 w t % から 1 . 5 w t % で存在する、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 5 )

前記ペルオキシゲンが過酸化物を含む、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 6 )

前記過酸化物が、過酸化水素、過酸化ナトリウム、過酸化マグネシウム、過酸化カルシウム、過酸化バリウム、および過酸化ストロンチウム、ならびにこれらの混合物からなる群から選択される、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 7 )

前記ペルオキシゲンが過酸および過酸化物を含む、項目 6 2 に記載の方法。

( 項目 7 8 )

前記ペルオキシゲンが、過マンガン酸塩、過ホウ酸塩、過塩素酸塩、過酢酸塩、過炭酸塩、過硫酸塩、およびそれらの組合せからなる群から選択される過酸塩である、項目 6 2 に記載の方法。